北海道情報大学のポータルサイト分析

分析手法

ユーザーテスト

ヒューリテック分析

調査：ヤコブ・ニールセンの十原則（①）に基づいて調査

**１**システム状態の視認性を高める

(Visibility of system status)

２　実環境に合ったシステムを構築する

(Match between system and the real world)

３　ユーザーにコントロールの主導権と自由度を与える

(User control and freedom)

４　一貫性と標準化を保持する

(Consistency and standards)

５　エラーの発生を事前に防止する

(Error prevention)

６　記憶しなくても、見ればわかるようなデザインを行う

(Recognition rather than recall)

７　柔軟性と効率性を持たせる

(Flexibility and efficiency of use)

８　最小限で美しいデザインを施す

(Aesthetic and minimalist design)

９　ユーザーによるエラー認識、診断、回復をサポートする

(Help users recognize, diagnose, and recover from errors)

１０　ヘルプとマニュアルを用意する

(Help and documentation)

URL一覧：

①<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A4%E3%82%B3%E3%83%96%E3%83%BB%E3%83%8B%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%82%BB%E3%83%B3>

②